

# アリガタバチ

寝ているとチクッと刺す虫

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発生				多い								

アリガタバチ類は、シバンムシ等に寄生する蜂で、室内に発生することもあり、人に対する被害も少なくありません。住宅の気密性向上が高湿度の環境を生み、シバンムシの繁殖に好条件を与えています。

## 生態

外見はアリによく似ていることから、アリガタバチ（蟻形蜂）といいますが、メスには翅がありません。多くはシバンムシアリガタバチで、乾燥食品やタタミ等につくタバコシバンムシ、乾燥植物質につくジンサンシバンムシに寄生します。まれに、クシヒゲシバンムシに寄生するクロアリガタバチも見られます。

年に5回発生し、発生のピークは夏です。

## 被害

刺されるとチクツとした痛みがあり、赤いはれとかゆみが1週間から10日間続きます。被害は、夜間に多く、知らぬ間に刺されていることが多いようです。

## 対策

アリガタバチが寄生するシバンムシ類を駆除します。また、発生源の食品類を処分することや、タタミの場合には加熱乾燥すると効果的です。

刺された場合は抗ヒスタミン軟こうを塗ります。



シバンムシアリガタバチ成虫(体長2mm前後)

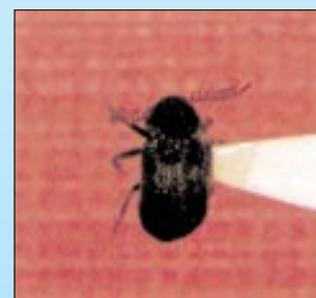


タバコシバンムシ成虫  
(体長2.5mm)

タバコシバンムシ幼虫  
(体長3mm)



クロアリガタバチ成虫(体長2mm)



クシヒゲシバンムシ成虫  
(体長3mm)

(写真提供：東京都)